



9月 給食だより



2019.9.1 フジオひまわり保育園

遠く澄んだ空に、朝夕の心地よい風。秋の訪れを感じる季節となりました。

9月の行事と言えば、お月見を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか？お月見は、空が澄んできれいに見える9月から10月のころの満月を觀賞する「月見」「観月」の風習と、ちょうどそのころが実りの時期でもあったことから収穫祭としても定着したのが「お月見」の始まりです

お月見の時にお供えする食べ物は何かご存知ですか？

穀物の収穫に感謝し、お米を粉にして満月に見立てて作る月見だんご、十五夜の別名「芋名月」と呼ばれるほど芋との関わりが強い、

里芋やサツマイモなどのいも類、収穫に感謝してお供えする旬の野菜や果物などをお供えします。ブドウなどのツルがあるものは、月と人とのつながりが強くなるという縁起のいいお供え物です。

お供えした食べ物は美味しくいただきます。お供えしたものを下げていただくことで、神様との結びつきが強くなると考えられています。

いつもとは違う雰囲気、月を眺めながら食事をしてみてはいかがでしょうか？



今月の世界の料理・日本のご当地グルメ

30日…ベトナム：鶏肉とフォーのスープ(フォーは、米粉が原料の平麺。鶏肉の優しいうま味と共に食べます)

7日…福岡県：かしわおにぎり(鶏肉と野菜のうま味をぎゅっとしみこませたご飯をおにぎりにします)

非常食の準備をしましょう



9月1日は防災の日です。非常食には、水・米(アルファ米)・パン・缶づめ・ビスケット・チョコレートなどがあげられます。非常食としての備えも大切ですが、子どもが日常的に食べ慣れているお菓子なども賞味期限ごとに買い替えをしてストックしておきましょう。災害時には、子どもは環境の変化により精神的に不安定になるため、食べ慣れない非常食では心身を満たすことが難しいことも。食べ慣れたお菓子が心を癒し、命を救います。



きぬかつぎってな～に？



中古・中世の時代に、身分の高い女性は外出するときに、顔を隠すために単衣(ひとえ)の着物を頭から被ったそうです。その装いを「衣被ぎ(きぬかつぎ)」といい、本来皮をむいた形で出てくるはずの里芋が、皮つきである様子が似ていることからこのように呼ばれるようになったそうです。保育園のおやつで提供するきぬかつぎは、オーブンでじっくり焼き上げます。

ご家庭でもぜひ試してみてください♪